

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 郡上北高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和7年2月7日(金)14時35分～15時30分の開催予定であったが、大雪で休校となったため、書面開催とし、協議事項に関する回答の提出期限を令和7年2月25日(火)とした。
- 3 開催場所 書面による開催に係る配付文書
  - ① 令和6年度 第3回学校運営協議会について(書面開催)
  - ② 令和6年度 第3回学校運営協議会(書面開催)に関する意見等について
  - ③ 別紙
    - 資料1 令和6年度 教育指導の重点及び学校運営計画
    - 資料2 岐阜県立郡上北高等学校スクールミッション・スクールポリシー
    - 資料3 高校生活のルールとマナー
- 4 参加者
 

	会 長	武藤 裕二	郡上市立白鳥中学校長
	副会長	竹下 英樹	郡上市白鳥地域公民館長
	委 員	西村 周衛	郡上市白鳥振興事務所長
		下谷 和宏	本校PTA会長
		石田 佑介	本校PTA前会長
		西村 健一	志誠堂院長・本校同窓会理事
		田代 昌代	自営業
		井俣 愛美	自営業
		中尾 汀	主婦
		山田 弥生	自営業
	オブザーバー	山川 弘保	郡上市長
		熊田 一泰	郡上市教育委員会 教育長
		野島 征夫	県議会議員
	学 校 側	高野 圭	校長
		尾関 香織	教頭
		坪井 照夫	事務長
		中島 哲平	教務主任
		阿郷 哲也	生徒指導主事
		加地 寛人	進路指導主事
- 5 会議の概要(協議事項)
  - (1) 今年度の反省と次年度に向けての提言
    - \* 「反省と次年度に向けての提言」及び「年度にむけた学校運営方針の共有」を受けて
    - ・意見1：・自己評価については妥当だ。

- ・国・県の「誰一人残さない」という方針に見合った取組を実践している点を高く評価している。
  - ・ボランティアへの参加率が低いという評価は意外。
  - ・白鳥踊りや公民会応援隊をはじめ、課外活動に積極的に取組んでいる姿が中学生の憧れである。
- ・意見 2 : ・地域人材の活用や地域課題への取組がより効果的に行える余地はないか。  
・地域企業や団体と連携し、生徒が社会課題の解決に貢献できるようなプロジェクトを企画・実施するとよい。
- ・意見 3 : ・学校の魅力を県内外にもっと発信し、生徒確保に努めるとよい。そのことで、教員数も増加し、更にレベルの高い学習機会が確保できる。
- ・意見 4 : ・少人数授業の実践がよい結果をけん引している。
- ・意見 5 : ・地域活動やボランティア活動を進める過程で愛郷心を養われるため、更なる参加を促してほしい。
- ・意見 6 : ・学力の定着と地域とのつながりを重視した取組をしている。  
・習熟度の低い生徒を導くと同時に、突出した能力を持っている生徒もさらに伸ばしてほしい。
- ・意見 7 : 発想の転換による思い切った方針を打ち出し、市内の児童生徒から選んでもらえるような高校を目指すとうい。
- ・意見 8 : ・学習指導に関して評価する。できる限り少人数・個に応じた指導のよりよい在り方を研究し、生徒の自己肯定感をたかめ、自信をもって社会にでてほしい。  
・自分中心や自分本位より、他を思いやる心の醸成に力を注いでほしい。
- (2) スクール・ミッションの承認及び、スクール・ポリシーを含めた意見・感想
- ・意見 1 : 現状での問題や課題がある場合は、長期的な判断が必要であるため、卒業生や同窓生、教員などに相談し、よりよいミッションプランができることを望む。
- (3) 「高校生活のルールとマナー」の変更した項目に関する意見
- ・意見 1 : 今までの既成概念をゼロから見つめるのも必要。
  - ・意見 2 : 自分で考え、選択する機会を増やすこととなりよい。
  - ・意見 3 : 先輩たちの努力で身だしなみが改善されたことは、ルールやマナーが自他の為になっている証拠である。

## 6 会議のまとめ

第3回学校運営協議会は書面での開催となった。これまでの協議会では、地域との連携活動による地域振興に重きを置く意見が多数みられたが、今回はそのことに加え、本校生徒の主体的な意見や行動を促す教育推進を期待する意見が多かった。今後はこれまでの教育活動を継続するとともに、生徒の自主性や主体性を更に向上させる教育活動を行い、地域活性化の主流となる教育機関としての学校運営を推進していきたい。